

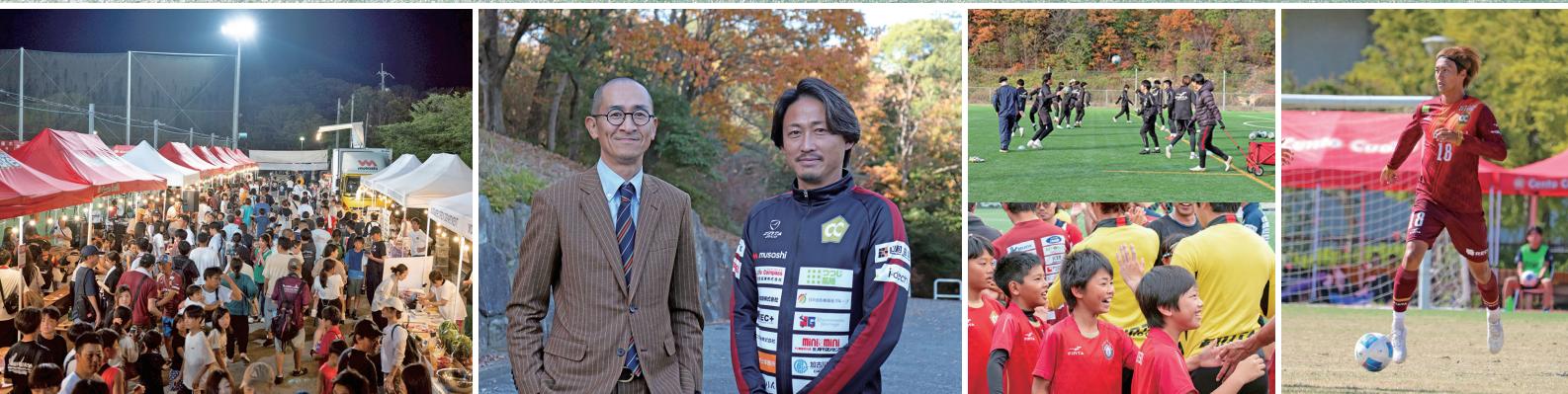
商工 かこかわ

The Kakogawa Chamber of Commerce and Industry

2026

1

No.673



特集 年男・年女に聞く～今年の抱負～



<https://kakogawa-cci.or.jp/>

■年頭のごあいさつ

「MAKE KAKOGAWA GREAT AGAIN」
加古川商工会議所 会頭 山本 亜也夫

■エッセイ

(株)26WORKS
代表取締役 中野 二郎 さん



年頭のごあいさつ

「MAKE KAKOGAWA GREAT AGAIN」

～地域の発展は企業の活性化から～

加古川商工会議所

会頭 山本 亜也夫

令和8年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申しあげます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

昨年11月の改選において、会頭を務めさせていただくことになり、改めて責任の重さに身の引き締まる思いでございます。釜谷前会頭のもとで副会頭を3期9年間経験し、商工会議所の地域での役割と立場はよく理解しているがゆえ、一層の重圧を感じていますが、3名の副会頭・役員議員・会員各位のご支援を賜り、職員と創意工夫を重ねながら様々な課題に取り組んでまいりたいと思います。

日本経済は、日経平均株価が5万円台を超え、景況は順調に経過している様ですが、輸入品を中心とする原材料価格の高騰、エネルギー価格の上昇、人材確保のための人員費アップなどから、さらに価格転嫁へと連鎖し物価上昇が長く続いており、企業経営や市民生活に大打撃を与えてています。

この厳しい状況下で、円安進行やトランプ関税、AI導入による省力化や賃上げによる人材不足への対応など、様々な経営課題が山積しており、企業は近年まれに見る経営上の難局に直面しています。女性初の総理大臣の強力なリーダーシップのもと、政府には緊急的な経営支援策や生活支援策が求められ、支援機関として商工会議所の果たすべき役割も益々重要となっています。

当商工会議所としましても、加古川市や東播磨地域の持続的な発展と地域企業の事業継続のため、伴走型支援や継続的な相談体制のさらなる強化を図ります。関係機関とも連携を図り、公的支援策の活用や情報提供、中小企業の経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う「ワンストップ相談窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

当地域では、続々とインフラ整備工事が進められています。昨年11月末には東播磨道が全線開通し、国道2号加古川橋架替や神吉中津線新橋梁は工事中でまだ数年かかりますが、播磨臨海地域道路も都市計画決定に向け着々と手続きが進められており、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現することが期待されています。

かわまちづくり計画や加古川駅周辺再整備事業に取組む加古川市や（一社）加古川観光協会と連携を図り、中心市街地に賑わいを取り戻すため、当商工ビルもさらに大勢の人々が集う交流拠点となって貢献できるよう、様々な試みを検討してまいります。

結びに、本年は丙午「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」と言われています。皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年ごあいさつ

加古川市長

岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を、ご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申しあげます。

加古川商工会議所会員の皆様には、平素より加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、昨年、本市は市制75周年を迎えました。市民の皆様がふるさとへの愛着と誇りを深めていただけた機会となるよう、様々な事業に取り組んでまいりました。また、社会経済情勢に目を向けてみると、エネルギーや物価の高騰は収まる様子はなく、今もなお事業者の皆様の経営環境や市民の皆様の生活に多大な影響を及ぼしています。その一方で、市内の各地域では、地域の皆様が中心となって様々な催しが行われ、こどもたちの笑顔はもちろんのこと、本当に多くの方々の笑顔に出逢うことができ、私自身も元気をいただき、まちづくりへの思いを新たにすることことができました。

本市では、昨年8月に「加古川駅周辺再整備基本方針」を策定・公表し、JR加古川駅周辺の滞在空間を創出する社会実験の実施や、駅前での過ごし方、空間利用について市民の皆様と考えるシンポジウムやワークショップの開催など、将来の駅周辺再整備に向けた様々な取組を進めています。

また、一昨年から解体工事を進めていた旧公設地方卸売市場跡地については、新たな産業用地を創出するため、まもなく売却に関する募集要項を公表し、跡地活用事業者の公募を開始することとしています。こうした駅周辺の再整備と産業用地の創出など、まちづくりの核となる取組を一体的に進めることで、より一層の相乗効果がもたらされ、新たな活力が生まれるものと確信しています。

厳しい社会経済情勢が続きますが、今後も事業者の皆様が未来を見据えた取組に挑戦していただけたるよう、引き続き皆様とともに歩み、様々な支援や経済活性化に資する施策を進めてまいります。本市が目指す「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、市内事業者の皆様のご協力が不可欠です。事業者の皆様の地域への熱い思いが加古川市の未来を形作る原動力となることを期待しています。

本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携を図りながら、商工業の振興に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍と本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

もくじ



今月の表紙

『Cento Cuore HARIMA
(チェントクオーレハリマ)』

事業所データ

◆代表者

チームオーナー 岡本 篤
チーム代表 大塚 靖治

◆所在地

加古川市神野町神野375番地の1

◆HP



◆表紙写真

- ①ホームグラウンドの日岡山公園グラウンドにて撮影。
- ②日岡山公園での試合はムサシオーブンデパート朝市と連動し、大人気コンテンツに成長！
- ③チームオーナー（㈱ムサシ 代表取締役社長）の岡本さんとチーム代表の大塚さんにお話を伺いました。
- ④Jリーグ昇格を目指し、日々の練習に励む選手たち。
- ⑤初心者の方も大歓迎！ スクール・アカデミー活動も行っています。
- ⑥地域と共に歩むクラブ、未来を走る選手たちに声援を！（写真：18番 花井 聖 選手）

1 年頭のごあいさつ

加古川商工会議所 会頭 山本 亜也夫

2 新年ごあいさつ

加古川市長 岡田 康裕

4 特集

年男・年女に聞く～今年の抱負～

9 エッセイ

「加古川の魅力を全国へ…

ONE HYOGO かこがわ大会を終えて」

（株）26WORKS 代表取締役 中野 二郎 さん

11 会議所のうごき

「歴史と自然が織りなす智頭の秋」

－会員交流バス旅行を開催－ 他

13 団体だより

異業種交流会

14 会議所からのお知らせ 各種検定試験のご案内 他

15 謹賀新年名刺広告

20 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月は播磨地域をホームタウンとするサッカーチーム「Cento Cuore HARIMA（チェントクオーレハリマ）」の皆さんに登場していただき、チームオーナーの岡本篤さんとチーム代表の大塚靖治さんによるクラブの歩みやこれから展望についてお話を伺いました。同クラブは1976年創設の歴史あるクラブで、2020年に現在の名称に改称されました。イタリア語で「チェントリマ」の意味し、苦しい時期を多くの方に支えられてきたことへの感謝が込められています。また、たくさんの人的心が一つに集い、兵庫・播磨を代表するクラブへ」という想いや、Jリーグ百年構想の理念の実現を目指すという意味も込められています。今オフの加入希望オファーは例年の約5倍に増加。選手間でも、その強い結束力や、底力の強さ、地元サポーターの熱量などが評価され、将来性のあるクラブとして注目されています。

「加古川には何も無い」という声を聞くたびに「そんなのはない」と奮い立つ岡本オーナー。加古川には誇れるものがたくさんあり、選手たちが人生をかけて挑むサッカークラブもある。その魅力を堂々と示すため、クラブを加古川の魅力の一つとして位置づけ、オーナーとなつて地域と共に歩んできました。グラウンドを囲むように朝市を開催し、今であります。ホームゲームの平均観客数は1,000人に達し、上位リーグでもなかなか見られない程の驚異的な動員数となっています。

所属選手の多くは働きながら競技に取り組み、午前中は練習、午後からは仕事という多忙な生活を送っています。実業団ではないため、引退後や移籍後の職業が保障されていないわけではありません。大塚代表自身の経験から、選手たちの不安軽減策の一つとして「地域全体で雇用する」ことを目指しています。

地域企業に協力をお願いして、現在7社で選手たちを雇用している大塚代表がサッカーをしていて良かつたと思います。

「今すぐ見に来ないと間に合いませんよ。きっと地域の理解と応援を得たい」と語ります。

地域の環境を、これからも継続して作りあげたい。厳しくいっていきます。地域の皆様と一緒に楽しみ、サッカーをしての生き方に

今月は播磨地域をホームタウンとするサッカーチーム「Cento Cuore HARIMA（チェントクオーレハリマ）」の皆さんに登場していただき、チームオーナーの岡本篤さんとチーム代表の大塚靖治さんによるクラブの歩みやこれから展望についてお話を伺いました。同クラブは1976年創設の歴史あるクラブで、2020年に現在の名称に改称されました。イタリア語で「チェントリマ」の意味し、苦しい時期を多くの方に支えられてきたことへの感謝が込められています。また、たくさんの人的心が一つに集い、兵庫・播磨を代表するクラブへ」という想いや、Jリーグ百年構想の理念の実現を目指すという意味も込められています。今オフの加入希望オファーは例年の約5倍に増加。選手間でも、その強い結束力や、底力の強さ、地元サポーターの熱量などが評価され、将来性のあるクラブとして注目されています。

「今オフの加入希望オファーは例年の約5倍に増加。選手間でも、その強い結束力や、底力の強さ、地元サポーターの熱量などが評価され、将来性のあるクラブとして注目されています。

今月は播磨地域をホームタウンとするサッカーチーム「Cento Cuore HARIMA（チェントクオーレハリマ）」の皆さんに登場していただき、チームオーナーの岡本篤さんとチーム代表の大塚靖治さんによるクラブの歩みやこれから展望についてお話を伺いました。同クラブは1976年創設の歴史あるクラブで、2020年に現在の名称に改称されました。イタリア語で「チェントリマ」の意味し、苦しい時期を多くの方に支えられてきたことへの感謝が込められています。また、たくさんの人的心が一つに集い、兵庫・播磨を代表するクラブへ」という想いや、Jリーグ百年構想の理念の実現を目指すという意味も込められています。今オフの加入希望オファーは例年の約5倍に増加。選手間でも、その強い結束力や、底力の強さ、地元サポーターの熱量などが評価され、将来性のあるクラブとして注目されています。



マンナ フォト オフィス 代表
しまだ ひろみ
島田 宏美 さん

加古川市平岡町つじ野2-13
TEL: 079-439-8696

1978年生まれ この年の出来事

○日中平和友好条約を締結 ○新東京国際空港(現在の成田国際空港)開港 ○キャンディーズが後楽園球場でのコンサートをもつて解散 ○ピンク・レディーの「UFO」「サウスポー」「モンスター」が年間チャートTOP3を独占 ○ディスコブーム、ミニコンポ・インペーダーゲームなどが流行

48歳

2018年に、念願だったフォトスタジオを東加古川にオープンしました。

スタジオの内装は、白い漆喰壁で統一し、流行りに左右される事なく、年月を重ねても色褪せない「シンプル」にこだわりました。撮影は午前・午後の1日2枚のみ。お子さまのご機嫌やご家族のペースを大切に、ゆとりあるスタイルでお迎えしています。赤ちゃんの頃から、毎年ご来店くださるご家族も多く、温かくリラックスできる雰囲気づくりを心がけています。

また、子ども用を中心に約200着のお着物をご用意しており、衣装選びから楽しんでいただけたらと思っています。撮影プランには約80枚のデータをお付けしておりますので、ぜひパパ・ママはもちろん、おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に撮影をお楽しみ頂きたいです。たくさん撮影した中から80枚を厳選する作業は、大変ですが、皆さんに喜んでいただけるよう丁寧にセレクトし、1枚ずつ修正も行っています。

2026年は、久しぶりにマルシェなどのイベント出店にも挑戦したいと考えています。地域の方々とのつながりを広げながら、スタジオの魅力を知っていただききっかけになれば嬉しく思います。また、これまで加古川や稻美の飲食店などを取材し、地域情報のフリーペーパーを3号まで発行してきました。4号の制作を目標に、今後も継続して地域に貢献できる活動を続けていきたいと考えています。

同じ自営業者さま向けに、お店や商品の撮影も承っております。宣材写真・メニュー写真・SNS用のカットなど、魅力が伝わるよう、撮影させていただきますので、ぜひお気軽にご相談ください。



播翠園芸 代表
しぶたに のぶひこ
瀧谷 信彦 さん

加古川市神野町石守404-1
TEL: 079-426-6233

1966年生まれ この年の出来事

○メートル法完全施行、尺貫法などの公的な使用が禁止される ○ビートルズが日本武道館で初公演 ○住民登録集計で総人口が1億人を突破 ○ミニスカートが流行

60歳

東播磨道北行き神野ランプを過ぎたあたりから左手に「播翠園芸」の黄色い文字が良く見えます。この区間の開通後しばらくすると「道路の上から見えるこの店が気になって来ました」と言う方が時々来られるようになりました。昨年11月末に全線開通し、今後ますます交通量が増えると幹線に面していないこの立地でも、店自体が目立つ看板の役割になってくれたらと期待しています。

草花や野菜苗、鉢物、観葉植物、各種苗木、輸入雑貨、園芸資材等を多く取り揃え、贈答用のラッピングも行っています。父が創業当時からやっていた貸植木もしています。契約数は減りましたが、現在でもオフィスやホテル等に観葉植物などをレンタルしています。来店されるお客様は草花や園芸資材を買い求める一般の方が大半ですが、造園業者が小さめの庭木を探しに来られる時もあります。当店では、お客様が好みそうな商品を仕入れ、親切・丁寧に接客することでお客様に喜んでいただけるよう心掛けています。

数年前に病気が見つかり手術のため入院、昨年も一時入院するなど、スタッフに仕事を代わってもらい負担と心配を掛けてしまいました。現在は、様子を見ながら体力回復に努めているところです。趣味で近くの公民館へ月2回参加している「和太鼓サークル」にも今年は復帰したいと思っています。

また、最近の酷暑では時期に合わせて種を撒いても、暑すぎて発芽しなかつたり生育不良になったり、害虫も外来種が増え、冬も生き残っている虫もいます。あらためて、気象に影響されやすい仕事だと実感させられます。庭いじりできる季節が少なくなっていますが、朝夕に作業するなど工夫して、ぜひ草花や野菜づくりなどを続けて楽しんでいただきたいです。当店では、水やり、種まき、育て方などご相談いただきましたら、出来る限りのアドバイスをさせていただく「相談できる園芸店」を続けてまいります。



年男・年女に聞く

~今年の抱負~

新年あけましておめでとうございます。

令和8年は午年。今年「年男・年女」にあたる午年生まれの会員の方々に、各年代を代表して今年の抱負等を語っていただきました。



みさと整骨院 代表
ごとう みさと
後藤 美里 さん

加古川市別府町新野辺北町7丁目6-2-101
TEL: 080-4487-5363

1990年生まれ この年の出来事

○イラクによるクウェート侵攻「湾岸危機」
○西ドイツと東ドイツの統一 ○バブル景気、いざなぎ景気に次ぐ戦後2番目の長さに
○B.Bクイーンズ「おどるポンポコリン」が大ヒット ○三井銀行と太陽神戸銀行が合併、太陽神戸三井銀行が誕生

36歳

19歳から整骨院の受付で働いていましたが、その整骨院で資格保有者が退職するため整骨院を継続できない事態に遭遇、その経験から私が資格を取れば今後、同様の心配は無くなるのではと考え、23歳で専門学校に入学しました。3年間、全く知識も無かった医療関係の勉強に打ち込み、念願の国家資格を取得しました。4~5年勤務の後、平成31年2月に最初は加古川町北在家で独立開業し、その後、今の場所に移転しました。

整骨院用ベッド1台と美容用ベッド1台を置き、整骨院のほか男女とも対応できる全身美容も実施するなど、ひとりで頑張っています。その人に合った治療法を見つけるため、その人の症状や痛みなどの特徴を詳細に聞き出すことが重要で、コミュニケーションが大切になります。体の不調を根本治療するため、例え腰痛ならその原因を探して治療します。マンツーマンで施術しながら、いろんな悩みの相談をお聞きしたり、心身ともにリフレッシュしていただくことを目標としています。日に日に良くなっていくのを見ると、心からホッとしてしますし、その過程は楽しみでもあります。私がするとは思ってもない、縁あって始めた整骨院の仕事ですが、今では天職では?と思います。広告も出さず主に口コミだけですが小学生から80歳代の方まで通っていました。

昨年は、妊娠・出産・育児もあって1年休んでいましたので、通っておられた方にはご迷惑をお掛けしました。当初は、産後すぐに仕事復帰できるのではと思っていたが、初めての子育てはそんなに甘くありませんでした。ハイハイ・つかまり立ちと成長するにつれて心配も高まります。徐々に仕事を始めているところですが、2026年は、保育園に預けられたら、4月から本格的に再開したいですね。子供と一緒にいながら、この場所で仕事が出来れば良いのですが、少し手狭ですし、毎回うるさくしてご迷惑をお掛けするのも申し訳ないです。

子供連れでも行けて産後の骨盤矯正もできるマッサージがあれば、すぐにでも私が行きたいくらい。将来は、ママさんたちのサロン的なスペースも用意できたら理想的ですね。

2026年は「午年」

干支（えと）は、十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）の組合せで計60通りあります。これを六十干支（ろくじっかんし）と呼び、60年で干支が一回りすることから、60歳になることを「還暦」と呼びます。

【十干（じっかん）】甲（きのえ）、乙（きのと）、丙（ひのえ）、丁（ひのと）、戊（つちのえ）、己（つちのと）、庚（かのえ）、辛（かのと）、壬（みづのえ）、癸（みづのと）

【十二支（じゅうにし）】子（ね）、丑（うし）、寅（とら）、卯（う）、辰（たつ）、巳（み）、午（うま）、未（ひつじ）、申（さる）、酉（とり）、戌（いぬ）、亥（い）

2026年は、丙午（ひのえうま）にあたります。「丙午の年の生まれの女性は気性が激しく、夫の命を縮める」という迷信があり、これは、江戸時代初期の「丙午の年には火災が多い」との迷信が、放火の罪で火あぶりにされた「八百やお七」が丙午生まれだったとされたことから広まりました。この迷信は長く残り、前回1966年の丙午では生み控えにより、前年に比べ出生率が25%も下がりました。

【丙】 十干の3番目。火の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表す。

【午】 十二支の7番目。活発で行動力があり、情熱や決断力を象徴する。

【丙午】 「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年といわれています。

〈ウマにまつわることわざや慣用句〉

・人間万事塞翁が馬：人生における幸不幸は予測できないもので、何

が吉と出るか凶と出るかわからないという意味

・馬脚を露す：正体を表す。化けの皮が剥がれる。隠されていた本性が露になるといった意味

・小馬の朝駆け：初めに力を入れすぎて早く疲れてしまうことのたとえ

・竜馬の躓（つまづ）き：どんなに優れた能力を持つ人でも、時には失敗してしまうこともあるという意味

など



株美広社 代表取締役
なかう まさかつ
中右 政勝さん

加古川市加古川町中津895番地の1
TEL: 079-424-3949

1954年生まれ この年の出来事

○自衛隊法に基づき、陸上・海上・航空自衛隊が発足 ○焼津港のマグロ漁船「第五福竜丸」がビキニ環礁での米の水爆実験による放射性降下物を浴びて被ばく ○力道山などプロレスブーム ○ジョー・ディマジオ、マリリン・モンロー夫妻が来日

映画館の手書き看板職人として腕を磨いた父が昭和38年に独立・開業し、今年で63年になります。私はサラリーマン（加古川商工会議所職員）を1年で辞め当社に入社し約20年修業の後、平成13年に父が亡くなり社長を引継ぎ、平成20年に法人化しました。コンピュータを導入して製作スピードが格段に上がり、お客様の要望に応えやすくなりました。今ではLED看板が増え、手書き看板はめっきり少くなりました。東播磨2市2町の範囲がほとんどですが、HPを見て問い合わせも増え、東は大阪から西は赤穂くらいまでご要望がありましたら対応させていただいている。

一昨年秋に黄綬褒章を授章、皇居にて天皇陛下より拝受賜わり、昨年3月にはプラザホテルで受章記念祝賀会を開催させていただいたことは、生涯の思い出となりました。創業当時よりお世話になっている地元商店街や企業の皆様のおかげであります。この受章を糧として、時代の変化に合わせて新しい技術を積極的に取り入れ、スキルアップに努めながら信頼を高め、景観に合った看板を作りたいです。また、近年パソコン全盛の中、手書きレタリングに興味を持ち始めた若者達に県立ものづくり大学で実技指導を行ってきました。今後も技術伝承のため微力ながらお役に立ちたいとも考えています。

娘が後を継ぐと言ってくれることもあり、少し任せてみて、72歳を迎える2026年は、旅行したり映画を見たり夫婦の時間をゆっくり過ごしてみたいですね（この先5～6年は無理でしょうが・・・）。父が映画館の看板を描いている時、出入りしていた昔の映画を見直したい。でもきっと、手書きの字幕やエンドロールが気になってそこばかり見てしまったり、旅先でも、古い看板の方が気になってしまふかも知れません。

これからも社員一同、街の景観づくりの一端を担っている責任を胸に、精進を続けてまいります。



黒崎水道建設(株) 代表取締役
くろさき しげこ
黒崎 重子さん

加古川市加古川町木村118-3
TEL: 079-423-6711

1942年生まれ この年の出来事

○ミッドウェー海戦で主力空母4隻を喪失、壊滅的な敗北を喫し、以後、太平洋の島々での戦いの主導権を全てアメリカに握られる ○戦争が本格化、食料、燃料など生活必需品は配給制となり、国民は不自由な生活を余儀なくされました「欲しがりません勝つまでは」をスローガンに耐え忍ぶ

初代黒崎義一が昭和7年に創業して94年を迎えます。加古川市の水道指定工事業者一覧では指定番号1番の一番古い業者です。3代目社長が平成17年5月に亡くなり、急遽私が引継ぐことになりましたが、事務は手伝っていたものの工事関係は全く経験が無く戸惑うばかり、皆さんの協力のおかげで乗り切ることが出来ました。今では長女が設計や現場管理で活躍してくれて、後継者としても頼りにしています。

上下水道工事や空調設備工事は屋外での作業がほとんど、毎年酷くなる夏の暑さ対策には苦労しています。ファン付の空調服の効果はあるそうですが、高所作業時に安全帯を2本装着する際などは作業性が悪く空調服を脱いでしまうこともあります。私は車を運転して工事現場へ冷たい飲み物を届けるくらいしか出来ません。他にも、姫路市から明石市まで指定業者更新の手続きにまわったり、会社の植木の手入れをしたり、サポート役に徹しています。

これからも毎日元気に会社に出勤して仕事を続けることが目標です。仕事をしていると自分の時間もありませんが、それよりも仕事が出来る喜びを感じながら、毎日を平穡に過ごせることが幸せです。主人は友人とゴルフを楽しんでいますが、私は特に趣味も無いんです。阪神タイガースのナイター試合がある日はテレビ観戦が楽しみの一つですね。特に大山選手と大竹投手に熱い声援を送っています。毎年冬には社員や下請けの人達とバスに乗ってカニを食べに行ったり、夏には庭で焼肉をしたり皆で仲良く楽しんでいます。辞める人も無く、70歳を過ぎても本人が希望すれば働いてもら正在り、今のところ人手も足りていてありがとうございます。

来年2027年は創立95周年になります。90周年はコロナ禍で何も出来ませんでしたが次は何か企画したいですね。社員や下請けをはじめ関係者の皆様に心から感謝をお伝えしたいです。

エッセイ

「加古川の魅力を全国へ… ONE HYOGO かこがわ大会を終えて」

(株)26WORKS 代表取締役 なかの 中野 じろう
二郎



令和7年9月5日・6日に開催いたしました「日本商工會議所青年部 第43回近畿ブロック大会 ONE HYOGO かこがわ大会」において、大会長の大役を務めさせていたただきました。

本大会には、近畿地方をはじめ全国各地から2,000名を超える若手経営者の皆様に加古川へお越しいただき、貴重な機会となりました。また、9月6日・7日には「加古川楽市」も同時開催し、青

住 所: 姫路市東今宿1丁目5-10-601
T E L: 079-298-6331
営業内容: シーリング工事、防水工事、外壁補修工事

年部メンバーだけでなく地域の多くの皆様にも足を運んでもらい、盛大に開催することができましたこと、心より感謝申し上げます。

本ブロック大会を無事に実施できたのは、加古川市行政の皆様、各関係団体の皆様、加古川商工会議所の皆様、そして何よりも会議所会員の皆様の温かいご理解と多大なるご協力があつてこそと、深く感謝しております。

大会に向け、私は一人でも多くの方に加古川へ足を運んでいただくため、近畿各地へほぼ毎日のようにPRキャラバンに出向きました。大会を『開催して終わり』にするのではなく、この経験を青年部活動や自社業にも生かし、自分自身の成長に繋げたいという強い思いがありました。また、来訪いただいた方々に『もう一度加古川に来たい』と感じてもらうことを、最も大切な目標としておりました。

P R活動の中で、「加古川って知っていますか?」、「来たことはありますか?」、「どんな街かご存じですか?」と問いかけると、名前は知つていても訪れたことのある方は決して多くありませんでした。いざ加古川の魅力を伝えようとした際、観光地や名物

がすぐには出てこず、正直悔しい思いもしました。「何があるの?」と聞かれ、周囲の人にも聞いても「何もないよ」と言わることもあり、もう一度加古川について深く調べました。

改めて街を見つめ直すと、高御位山に残る数多くの伝説や神話、42.195kmの常設マラソンコース加古川みなもロード、加古川図書館や日本毛織社宅群などの歴史ある建物、日本武尊生誕の地とされる歴史的背景など、加古川には多くの魅力があることに気づかされました。かつめしをはじめとした食文化には、お肉料理以外にもおいしい名店が多数あり、本当に素晴らしい街です。そして何より伝えたい加古川の最大の魅力は、『人』だと私は思っています。口は悪いが気はいい、少し恥ずかしがり屋で控えめだけれど、一度心が通えばとても人情深く、面倒見の良い温かい人ばかりです。

『何もない』と思われていた街を、自分自身で調べ、伝え続けたことで、私はますます加古川が好きになりました。自分の住む街を誇りに思い、もつと知つてもらい、これからも加古川を盛り上げていきたいと強く感じております。

会議所のうごき

歴史と自然が織りなす智頭の秋

「会員交流バス旅行を開催」

11月23日・24日に会員バス旅行を開催し、両日合わせて100名の参加者が宿場町として栄えた鳥取県の智頭町を訪ねました。

最初に訪れた石谷家住宅は国の重要文化財に指定されており、敷地3000坪・40余りの部屋数と7棟の土蔵を有する大規模な邸宅です。参加者は観光ガイドの案内として、普段は降りることのできない庭園を散策し、色づく紅葉を満喫しました。



石谷家住宅の庭園散策

昼食は「みたき園」の山菜郷土料理を味わいました。特製山椒味噌をつけた焼きたてのヤマメや、毎朝つくるこんにゃくの田楽など、手作りの温かみを感じる品々が並びました。

その後は大江ノ郷自然牧場へ向かい、軽食や買い物など思い思いの時間を過ごし、ゆったりとしたひとときを楽しみました。

新しい事業計画のつくり方

「生成AI活用セミナーを開催」

11月25日、経営デザインコンサルティング株の代表取締役 川居宗則氏を講師に迎え、「生成AIで実現!経営効率化&事業計画策定」セミナーを開催しました。

代表的な生成AIとその利用場面を紹介した後、講師が生成AIを使って実際に作成した事業計画書を開示すると、参加者はその完成度に高い関心を示していました。



実例を示しながらの解説

は文書校正や事業分析、アイデア出しなどについて蓄積された膨大なデータを基に高い精度でアウトプットできる点であると説明し、それを活かすための効果的な指示（プロンプト）の工夫についても触れました。

また、国税庁のDX推進については、加古川税務署の善光哲治総務課長よりご説明をいただきまして、参加者は15名

もし、攻撃予告が届いたなら

「サイバーセキュリティセミナーを開催」

11月27日、兵庫県警察サイバー企画課と合同で、サイバーセキュリティセミナーを開催しました。第一部はサイバーセキュリティ・捜査リテイ・セミナーにより、「サイバー空間をめぐる脅威の現状」について、第二部は警備部・外事課より「営業秘密の流出防止に向けて」の解説がありました。



講演される岡田氏

第3部は兵庫県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザーである株アスターク・リサーチの代表取締役 岡田良太郎氏より、身に着けるべきセキュリティプラクティスについて講演がありました。加古川地域の中小企業の標的になりやすい部分や強化施策について具体例を挙げて解説し、技術や組織の脆弱性だけでなく、人の心の脆弱性（無知無関心・思い込み等）も対策が必要だと述べました。

参加者は27名

企業としての対策は?

「年収の壁対策セミナーを開催」

12月3日、孚（まこと）事務所（株）の代表取締役であり、社会保険労務士でもある飯田吉宏氏を講師に、令和7年度最新版“年収の壁”対策セミナーを開催しました。

初めに年収の壁問題の背景や現状について触れ、年収の壁による就業調整は、働く意欲を持つパート従業員の業務能力の発揮と向上にマイナスに働くだけではなく、ほかの従業員の負担を増やし、企業の人手不足を助長する側面があると述べました。

また、年収の壁対策として支援強化パッケージについて触れ、キャリアアップ助成金等について解説がありました。最後に、企業として注力すべき打ち出す方針を確認しつつ、



詳細な資料を基に解説

自社のニーズに応じて支援策を活用し、“壁”周辺のパート従業員が納得して働く労働環境をつくることだと締めくくりました。

参加者は15名

異業種交流会

観光地・ケアンズに学ぶ

-海外観察研修を実施-

11月9日から12日にかけて、毎年恒例の海外観察研修をオーストラリア北東部に位置するケアンズで開催し、11名が訪れました。研修の目的は、観光経済が大きく変化する中で、観光地としてのケアンズにどのような変化が起きていたのか、また今後どのように発展・継続していくかの調査研究です。



11名での集合写真

商売には「肝・要」がありますが、観光業において第一に挙げられるのは観光資源です。どれほど豊かな森・山・海・動物があります。規制によって人が入れないようでは観光資源とはなりません。まず規制を緩和し観光地化する必要があります。第二にアクセスです。観光資源が分散していると移動ばかりで効率が悪くなり、観光地としての魅力が低下します。海外旅行においては飛行機の直行便がなければ、そもそも訪問先とし

て選ばれにくくなります。最後に接客です。英語を話せない外国人でも、宿泊施設やカフェ・レストラン、現地ツアーを簡単に利用できる環境が重要です。調査結果ですが、日本からケアンズまでは直行便があり約7時間、ホテルも空港から15分と、アクセスは非常に良好でした。



グラスボート



夕食のシュラスコ

宿泊先は観光資源を集中して楽しめる立地にある五つ星のシャングリ・ラホテルに連泊しました。街並みと規模は、神戸駅からハーバーランド周辺に似た印象を受けました。これを出発点として熱帯雨林を長距離ロープウェイや水陸両用車で探検、海ではグレートバリアリーフに浮かぶグリーン島でマリンスポーツや観光を体験しました。さらに港町ではカジノと観光資源を調査するた

めに全て体験しました。接客面では、ほぼすべての観光地レストランに日本人が働いており、英語は不要でおもてなしも最高です。現地観光予約もJTB社があり、好きにアレンジしてもらいました。また、大橋巨泉氏が経営していたOKギフトショップでは、かつて中国人が急増した際に政治的・民度的リスクから混乱が生じた反省から、日本人客に「選択と集中」を行ったという話を伺いました。海外からの観光客は日本人が最も多く、20年前には年間25万人もの来訪があつたものの、リーマンショックや震災の影響で6万人まで減少し、コロナ禍でほぼ0にまでなりました。今ではようやく10万人まで回復したものの、伸び悩んでいるとのことです。今後さらに増加させるためには、飛行機の直行便数増加とワーキングホリデーの日本人にたくさん来て欲しいとのこと。時給3000円以上だそうで、いかがですか。

(エイム研究所(株) 矢野 弘)



ケアンズ観光の変化を聞く

会議所からのおしらせ

各種検定試験のご案内

印刷物入札

第172回 日商簿記検定試験
(2~3級)
【試験日】 2月22日(日)
【申込期間】
(ネット受付) 1月6日(火)~22日(木)
(窓口受付) 1月21日(水)~23日(金)
(受験料) 2級 5,500円
3級 3,300円

※1級施行なし
※インターネット申込の場合、受
験料のほかに申込手数料として
別途680円(税込)を徴収いた
します。

当所より発注する印刷物に関し、競争見積を実施いたします。内容につきましては、前日にお問い合わせください。(当所会員限定)

● 日 時 1月22日(木)10時~
● 場 所 加古川商工会議所
3階事務所
● お問い合わせ 総務管理課
TEL 079-424-3355

商工かこがわの表紙・エッセイに
登場しませんか?

本誌「商工かこがわ」の表紙と
エッセイにご登場いただける事業
所を募集します。(掲載時期につ
いては要相談)

表紙では、新事業を始めたので
知つてほしい、ほかの企業にはな
いおもしろいことをやっている、
一緒に頑張る従業員の皆様と登場
したいなど、お気軽にご相談くだ
さい。

ぜひご紹介ください ★★新規会員事業所★★

新入会員紹介キャンペーン

「加古川プラザホテル・東京田村食事券2,000円」
を進呈いたします

【お問い合わせ】
会員課 TEL 079-424-3355

● お問い合わせ 会員課
TEL 079-424-3355

必ず

ご準備ください

令和7年分以降より、「特定親族特別控除の創設」と「扶養親族等の所得要件の改正」により控除額が細分化されました。

対象者の確認のため従業員の「扶養控除等申告書」等の確認ができる書類を必ずご持参ください。



● お問い合わせ 指導課
TEL 079-424-3355

「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書」

を提出されている方

納期限 令和8年1月20日(火)

相談日時等

月 日	相談会場	相談時間
1月15日(木)	加古川商工会議所	9時30分
19日(月)	3階相談室	16時00分

※西支所建屋の老朽化に伴い、本所開催のみとさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。

- ①源泉所得税のかからない方でも所得税徴収高計算書（納付書）を提出することになります。

- ②配偶者・特定親族特別控除の関係で、従業員の配偶者・扶養親族の方で給与等の収入がある方はその生年月日や収入金額を調べておいてください。

- ③来所される際には、源泉関係の必要書類を必ずご持参ください。
- ④各人ごとの給与の合計、全員の給与の合計計算をしておいてください。
- ⑤生命保険・地震保険等の証明書、各人の年金・健康保険等の金額のわかる書類等、相談に必要と思われる書類をご持参ください。

年末調整及び法定資料等作成についての相談日

従業員、専従者給与についての年末調整等の相談日を設けていますので、ご都合の良い日にお越しください。

1月の会議所カレンダー

日	曜日	行 事
5	月	令和8年 年賀交歓会
6	火	広報委員会
9	金	〔無料〕法律相談
16	金	〔無料〕法律相談

日	曜日	行 事
19	月	新春議員懇談会
20	火	〔無料〕金融相談(兵庫県信用保証協会 加古川支所)
27	火	〔無料〕不動産相談
【個別経営相談会】6・7・8・13・14・15・20・21・22日		

- 「個別経営相談会」は事前予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)
 ●無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが、事前にお問合せください。
 ⇒「不動産相談」は当面の間【完全予約制】の【電話相談のみ】となり、1月23日(金)までに予約が必要です。(☆)
 《問合わせ・予約連絡先》※印:加古川商工会議所 電話079-424-3355
 ☆印: (一社) 兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部 電話079-424-0832

商工かこがわ1月号

発 行
2026年1月1日

発行人
加古川商工会議所
〒675-0064
加古川市加古川町溝之口800
TEL (079)424-3355(代表)
FAX (079)424-7157

広報委員の“つぶやき”

新年あけましておめでとうございます。
 今年も「まあええか」と「やってみよ」のちょうどいいバランスで、邁進してまいります！

「今月の“こんな日”」

●ひょうご安全の日（17日）

1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災から11年を迎えた2006年（平成18年）のこの日、兵庫県が制定。
 同日は政府が制定した「防災とボランティアの日」にもなっている。